



学校だより

横浜市立朝比奈小学校

令和2年1月29日

第11号



「こうやってやるんだよ」「そう、そう」

校長 神田 敏之

「第3回 あさひななかよしかい」が開かれました。これは朝比奈幼稚園の年長児と1年生児童が交流をする幼保小連携の取り組みの一環です。

今回は、年長児を学校に迎えて、伝統的な遊びで交流を図りました。1年生がこま、けんだま、あやとり、おてだま、めんこ、はねつきのコーナーを作り、年長児が順番に回り、体験するという流れです。けんだまのコーナーでは冒頭の言葉のように持ち方を教え、年長児のやっている様子を見て「そう、そう」と励ましていました。おてだまのコーナーでは、「はじめは一つ持って、上にあげて」「それができたら今度は両手で」と段階を踏んで教えていました。

どうしてこんなに教え方がうまいのでしょうか。それには秘密があります。実は子どもたちも「昔遊び名人」に教わっていたのです。

1年生は、地域の方にそれぞれの伝統的な遊びを教えてもらう機会がありました。幼稚園や保育園で経験があった子どももいましたが、多くの子どもは初めてだったり、経験が十分ではなかったりしました。その後、自分たちでも生活科の時間や自分の時間等を使い熱心に練習を重ねました。

その成果を地域の昔遊び名人に披露する日がきました。この日に向けて自分ができるようになったことを決めて、順番に発表をしました。地域の方に加え、保護者の方もいらして20名ほどの大人が見守りました。

おてだまでは多くの回数ができることになったことを披露しました。見ている子どもたちも一緒になって「1、2、3・・・」と数えています。みなが一体となって応援しました。その他の遊びの時も「がんばって」などの声が出ていました。

けんだまで、ある子どもが玉を皿になかなかうまく乗せることができませんでした。何回もチャレンジしたのですがいつもは乗るはずの玉が乗りません。見ていた地域の方のところへ行き、もう一度コツを教えてくださいとチャレンジ。何回かのチャレンジの後ついに乗り、ホッとした雰囲気広がりました。こまでも同じように何回もチャレンジした子どもがいました。何回もチャレンジしたのですがなかなか回りません。回りかけた場面もあったのですが、きれいに回すことができずに時間切れとなりました。「今度こそ回すぞ」とあきらめずに取り組む姿勢が素晴らしかったです。

新学習指導要領では、「学びに向かう力、人間性等を涵養(かんよう)すること」が実現できるようにするということが述べられています。あきらめずに学習をすること、学習を工夫することに繋がる取組でした。知識・技能の習得のみにとらわれず、自らどのように学習を進めるかというところにも力を入れて授業をつくっていきます。ご家庭や地域でも粘り強く取り組む姿を応援していただけるとありがたいです。